

人 チーム 制度

フレックスタイム制度の導入

-効率的な働き方・生活と業務の調和-

八千代エンジニアリング（株）

八千代エンジニアリング(株)では、令和元年7月よりフレックスタイム制度の本格運用を開始しました。これにより、各個人での柔軟な勤務時間の設定が可能となり、メリハリを持って業務に取り組めるようになっていきます。本制度の概要に加え、子育て中の女性社員の働き方をご紹介します。

当社のフレックスタイム制度の経緯

H30年7月～本社代表部署で2ヶ月程度試行

R1年7月～本格運用開始

当社のフレックスタイム制度の概要

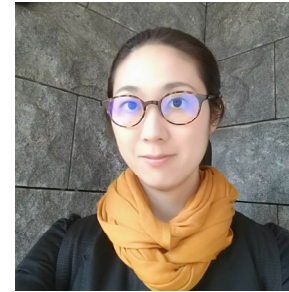
- コアタイム（必ず勤務しなければならない時間帯）
：10:00-15:00
- フレキシブルタイム（社員が始業および終業時間を選択できる時間帯）
：5:00-10:00, 15:00-22:00
- 標準勤務時間帯：9:00-17:30（標準労働時間 7.5 時間）
- 1ヶ月清算方式
- 運用上の工夫：共有カレンダーへ各個人で勤務時間予定を書き込み 等



※コロナウイルス感染症拡大防止期間中の運用は異なる

制度利用者の働き方

★制度利用者プロフィール



■所属：事業統括本部 国内事業部 社会計画部

■勤続年数：12年

■勤務状況：

H19.4：入社

H25.1～H26.4：産前産後休暇・育児休暇

H26.4～H31.3：短時間勤務（10:00-17:30）

H31.4～R1.6：通常勤務

R1.7～：フレックスタイム制度適用

★具体的な働き方

基本的には標準労働時間で勤務しています。

8:00 小学生の息子と一緒に家を出る

9:00 出社（直行・直帰も多いです）

12:00～13:00 昼食

17:45 退社

19:00 学童クラブへお迎え

（夫や親にお迎えを頼める日は残業も）

★制度利用のメリット・デメリット

昨年度までは子どもが保育園児だったので、10:00～17:30を基本に時短勤務をしていました。園での引き渡しの時に泣かれたりすると、10時出社にも間に合わず、やむを得ず半休をとることもしばしばありました。時間休の制度が導入された時はありがたかったです。

フレックスタイム制になって、社員それぞれがフレキシブルな働き方ができるので、時短勤務者が後ろめたく思わずに働けるのは良いことだと思います。私は子どもが小学生になったのでフルタイム勤務に戻りましたが、朝、学校に行く子どもと一緒に出掛けると9時を過ぎることもあるので、遅刻を気にせず出社できるのはありがたいです。また、PTAや保護者会、面談など、保育園時代より平日の時間を取られる機会が多いものの、フレックスタイム内で対応可能なことも多く、有給休暇が余るようになりました。